

原料費調整制度に基づく2019年7月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1m³あたりの単価)で毎月調整します。

今回の調整は、2019年2月から2019年4月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
3ヵ月の平均原料価格			→		反映		
			→			反映	
			→				反映
			→				

○2019年7月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1ヵ月のご使用量	基本料金 (1ヵ月あたり)	調整単位料金(1m ³ あたり)	
			2019年6月検針分	2019年7月検針分
料金表 A	0 m ³ から 11 m ³ まで	772.20 円	200.66 円	198.83 円
料金表 B	11 m ³ 超～115 m ³ まで	874.80 円	191.36 円	189.53 円
料金表 C	115 m ³ 超～	1,925.64 円	182.22 円	180.39 円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 38,910円/トン**

2019年2月から2019年4月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	60,390 円/トン(10円未満四捨五入)
2019年2月から2019年4月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	53,530 円/トン(10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 60,390 円/トン×0.9771 + 53,530 円/トン×0.0474	61,540 円/トン (10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格 - 基準平均原料価格)	61,540 円 - 38,910 円 = <u>22,600 円/トン</u> (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1m ³ あたりの価格変動額	0.077 円
2019年7月分検針の調整額(1m ³ あたり)	22,600 円×0.077 円÷100×1.08 = <u>18.79 円</u> (税込) (小数点第3位切り捨て)
2019年6月分検針の調整額(1m ³ あたり)	20.62 円(税込)
(7月分)対(6月分)増減(1m ³ あたり)	<u>-1.83 円(税込)</u>

2019年7月分の単位料金を1m³あたり +18.79円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1ヵ月のご使用量	2019年6月分料金	2019年7月分料金	影響額
20m ³	4,702円	4,665円	-37円